

中国法定感染症発病概況 2017年12月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.
リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は前月比 21.2%で、例年より多く発生

当月発病総数は 699,850 例であり、前月比 21.2%と増加。過去平均（過去3年の同月および前後月の9カ月平均）比は+31.21%で、過去平均標準偏差（SD）+4.2 となり、例年より多く発生。（図表1）

■甲乙類は例年より若干多く、丙類は例年より多く発生

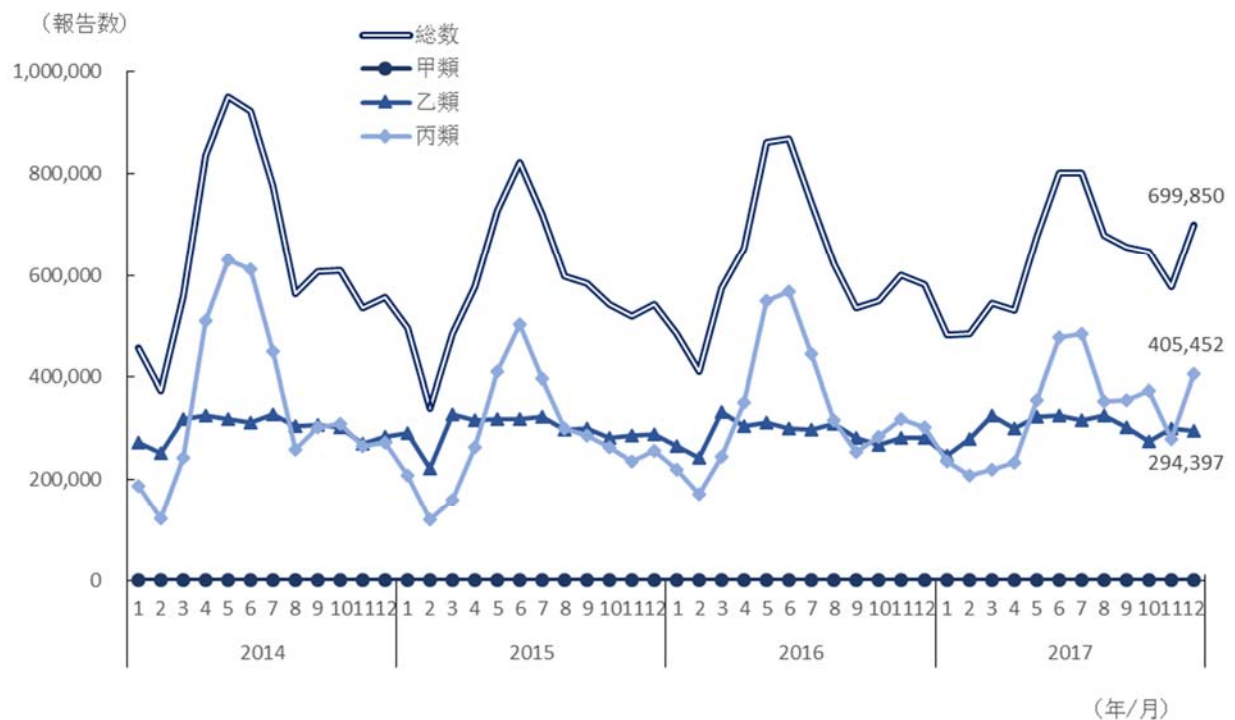
類型（甲乙丙）別*では、甲類のペストが1件発生。

乙類は 294,397 例（前月比-1.7%）で、過去平均比+6.3%、過去平均SD+1.3 であり例年よりは若干多い。

丙類は 405,452 例（前月比+46.0%）で、過去平均比+58.1%、過去平均SD+4.3 と例年より大幅に多い。（図表1）

*）中国では、病気のうち39の感染症を甲類2（ペスト、コレラ）、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追加。（本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、その他肝炎を合算。）

図表1 発病数

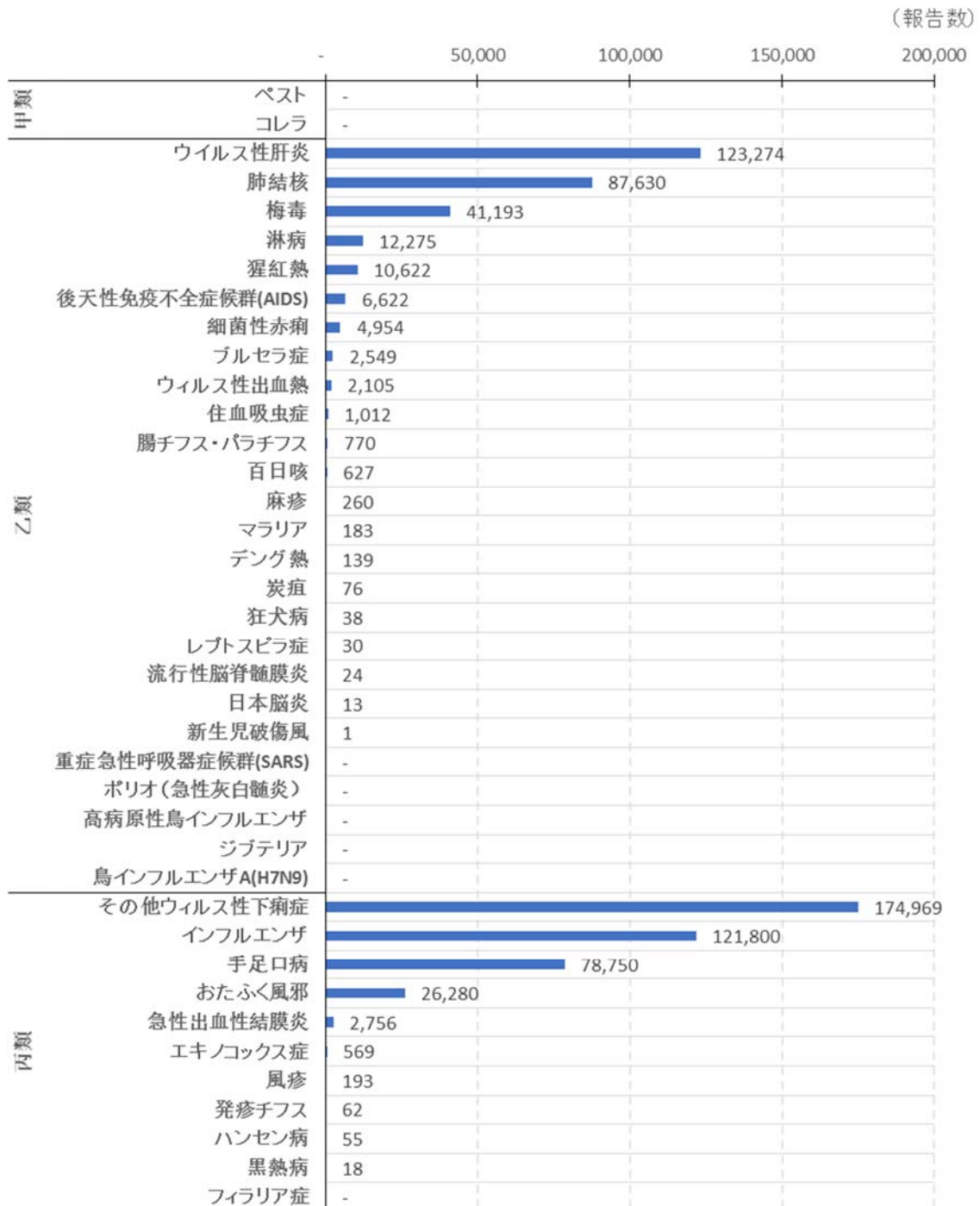


（資料）中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■「**その他ウイルス性下痢症**」が最多で発生

感染症別では、**その他ウイルス性下痢症**が 174,969 例(前月比+87.9%)と最も多い。過去平均比+82.7%、過去平均SD+4.4 であり、例年と比べても多く発生(図表2、図表3)。

図表2 感染症別：発病数(当月)
〈類型別降順〉

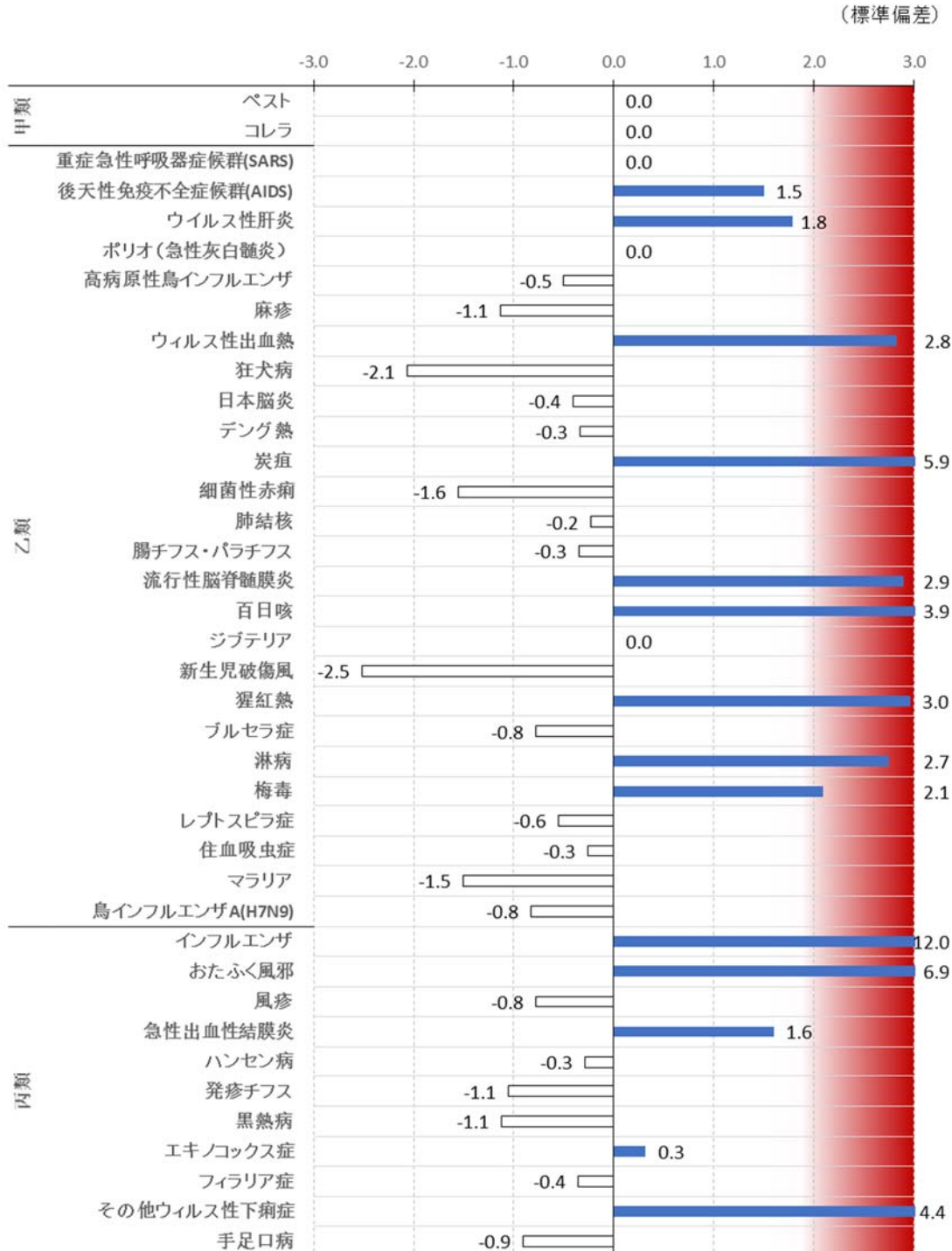


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■ 10 個の感染症が例年に比べ非常に多く発生した

例年に比べ非常に多く発生（過去平均SDが+2.0以上）した感染症は10個（図表3）。

図表3 感染症別：過去平均SD（当月）
〈統計記載順〉

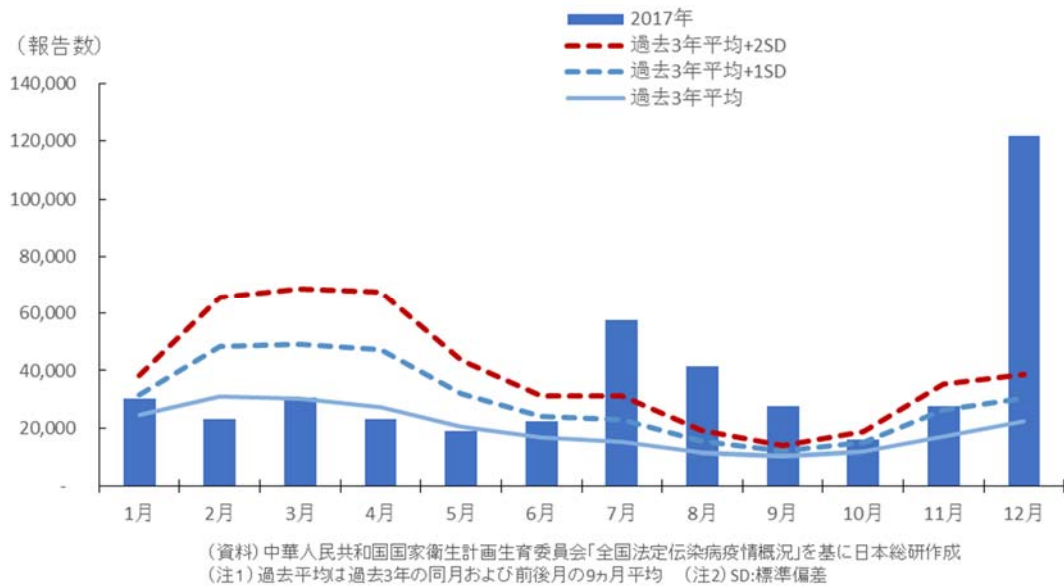


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■インフルエンザは当月 10 万例を突破

インフルエンザは 121,800 例(前月比+339.2%)と当月急増(図表 4)。

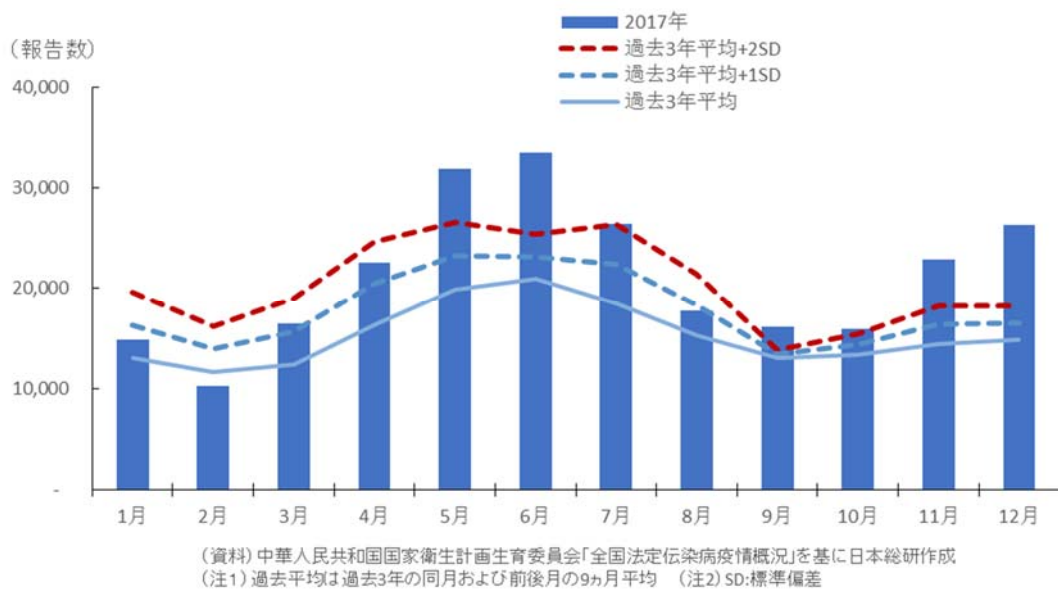
図表 4 発病数(インフルエンザ)



■おたふく風邪は 2 カ月連続で例年より非常に多い

おたふく風邪は 26,280 例(前月比+14.6%)で、過去平均比+76.9%、過去平均 SD+6.9 と先月に続いて例年より多く発生(図表 5)。

図表 5 発病数(おたふく風邪)



参考：発病統計表(2017年12月)

病名	発病数	病名	発病数
甲乙丙類総計	699,850		
甲乙類合計	294,398	丙類合計	405,452
ペスト	1	インフルエンザ	121,800
コレラ	-	おたふく風邪	26,280
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	193
後天性免疫不全症候群(AIDS)	6,622	急性出血性結膜炎	2,756
ウイルス性肝炎	123,274	ハンセン病	55
A型肝炎	1,428	発疹チフス	62
B型肝炎	97,560	黒熱病	18
C型肝炎	20,394	エキノコックス症	569
D型肝炎	30	フィラリア症	-
E型肝炎	2,302	その他ウイルス性下痢症	174,969
未分類型肝炎	1,560	手足口病	78,750
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	260		
ウイルス性出血熱	2,105		
狂犬病	38		
日本脳炎	13		
デング熱	139		
炭疽	76		
細菌性赤痢	4,954		
肺結核	87,630		
腸チフス・パラチフス	770		
流行性脳脊髄膜炎	24		
百日咳	627		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	1		
猩紅熱	10,622		
ブルセラ症	2,549		
淋病	12,275		
梅毒	41,193		
レプトスピラ症	30		
住血吸虫症	1,012		
マラリア	183		
鳥インフルエンザA(H7N9)	-		

(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2018年1月11日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。

中国法定感染症発病概況 2017年12月

Copyright (C) 2018 The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd. All Rights Reserved.